

CKD患者のQOLの維持向上を図る体制の構築に関する研究

研究分担者 花房 規男 東京女子医科大学血液浄化療法科・准教授

研究要旨

透析患者・保存期腎不全患者の QOL についてのエビデンスの構築を目指す予備的な検討を行った。自然言語処理の技術を用いて、QOL と関連する word を PubMed の abstract データを基にして抽出した。その結果、低栄養・消耗、精神心理的徴候、社会・経済的背景が関連する可能性が示唆された。QOL 向上のためには、多方面からの取り組みが必要で、多職種による介入・腎代替療法の適正な選択が介入手段として有用である可能性がある。

A. 研究目的

透析患者・保存期腎不全患者において QOL の維持構築を図ることを考慮した際、そもそも CKD 患者の QOL と関連する要因としてどのようなものがあるか明らかになっていない。このため、CKD 患者の QOL についてのエビデンスの構築を目指す予備的な検討を行った。

B. 研究方法

自然言語処理の技術を用いることとした。PubMed において、CKD、腎代替療法および QOL に関連するキーワードで論文検索を行い、それらの抄録データ(229,893 論文)を用いた。コンピュータ言語 python のライブラリ gensim の Word2Vec を用いてモデルを作成した(含まれた単語 約 2680 万語)。QOL と関連する単語をコサイン類似度順に整列し、上位 100 語を抽出した。また、QOL とともに elderly を positive word, young を negative word として、同様に検討を行った。なお、データベースを利用した検討であり、倫理的配慮の必要はなかった。

C. 研究結果

QOL と関連する特徴的な word として、frailty, fatigue, comorbidity, anxiety, cognition, depression, nutritional, caregiver, social, economic などが抽出された。

D. 考察

今回の検討からは、1) 低栄養や消耗といった高齢者にみられる症状・所見、2) 抑うつ、不安といった精神心理的な徴候、3) 介助者、社会・経済という患者自身を取り巻く環境が、QOL と深い関連を持つ可能性が示唆された。

こうしたことから、多職種介入(栄養士、理学療法士、臨床心理士、看護師、ケアマネジャーなど)

の重要性が再認識されるとともに、実際の介入の方策・その効果の評価についての検討が必要と考えられた。また、今回の検討とは直接的な関連はないが、腎代替療法における移植が QOL を向上させることが明らかになっており、今後こうした腎代替療法の選択と QOL 向上との関連も検討する必要がある。

E. 結論

CKD 患者における QOL 向上のためには、多方面からの取り組みが必要で、多職種による介入・腎代替療法の適正な選択が介入手段として有用である可能性がある。

G. 研究発表

(本研究の結果は投稿準備中である)

- 1) Sato M, Hanafusa N, Tsuchiya K, et al. Impact of Transferrin Saturation on All-Cause Mortality in Patients on Maintenance Hemodialysis. Blood Purif. 2019;48(2):158-166.
- 2) Kataoka H, Ono K, Mochizuki T, Hanafusa N, et al. A Body Mass Index-Based Cross-Classification Approach for the Assessment of Prognostic Factors in Chronic Kidney Disease Progression. Kidney Blood Press Res. 2019;44(3):362-383.
- 3) Hanafusa N, Tsuchiya K, Nitta K. Malnutrition-Wasting Conditions in Older Dialysis Patients: An Individualized Approach. Contrib Nephrol. 2019;198:12-20.
- 4) Sakurai S, Hanafusa N, Nomura T, et al. Strategies for the Super-Aged Dialysis Population: Survival Benefits or Alternative Goals? Blood Purif. 2019;47 Suppl 2:95-105.
- 5) Usui T, Hanafusa N, Yasunaga H, et al. Association of dialysis with in-hospital disability progression and mortality in

community-onset stroke. Nephrology
(Carlton). 2019 Jul;24(7):737-743.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）
特になし.